

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

介護保険事業者指定 一一七〇四〇二三八二

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

FAX 049・230・1112

ご家族の声

家にいるような変わらない姿

ある日母を訪ねて行きますと、入浴中でした。目が見えなくなった母ですが、湯船にゆったりとつかり、両手でお湯をすくっては顔や肩にかけていました。母らしい動きが変わらず保たれていてとても嬉しかったです。

居室から出てきて、テーブルについて一日を過ごしている様子も家にいた頃と変わらない姿で、ほんとに母にとって福音の園は居心地よさそうです。また、母が腰を痛めて入院した時、手のかかる状態にもかかわらず、その入院先から早々に退院させてお世話下さいました。母は自分が腰を痛めたことなどすっかり忘れていて、訪問するたびに「ほんとに有り難いねえ」と言います。

そうして思い出すのは、義父が大手介護企業のホームでお世話になっていた頃のことです。規定どおりの介護はして下さったものの、ひとりひとりの嗜好や体調に合わせたお世話はなかなか望めませんでした。

福音の園では、子供家族にもなかなか作れない安心の場を提供して下さっていることに、私は感謝するばかりです。
(S・S)

マザー・テレサの言葉より

わかってくれる人は幸いです

私のよるける足どりとふるえる手を
理解してくれる人は幸いです。
私の耳は、人の言う言葉を聞き取るためには、
大きな努力が必要であることを
わかってくれる人は幸いです。

私の目はうすくなり、
私の行動はのろいということを善意のうちに
わかってくれる人は幸いです。

私がコーヒーをこぼしても、かわりない
平静な顔をしてくれる人は幸いです。
しばらく立ち止まって明るく微笑みながら
おしゃべりしてくれる人は幸いです。

「今日はその話を二度も聞きましたよ」と
決して言わない人は幸いです。
楽しかった昔をとりもどす方法を
知っている人は幸いです。

私が愛されており、ひとりぼっちでないことを
教えてくれる人は幸いです。
私には十字架を担う力がないことを
わかってくれる人は幸いです。

愛情深く人生の最後の旅路の日々を
慰めてくれる人は幸いです。
(おとしよりに対する黙想のことば)

御礼

雛人形 H・K様 (川越市砂新田)

福音の園・川越 スタッフ一覧 (四月五日現在)

早出・普通・準遅・遅出・夜勤の五交代制でお世話させていただくスタッフを紹介いたします。
一階・計画作成担当・杉澤 玉美(介護支援専門員)。
介護職・樋口宇多子、神田津枝江、鈴木 昌子、
弓田テツ子、山口 藤子、根田 喜行。
看護職・石井 浩子。 事務職・浅見 益子。
二階・計画作成担当・西澤 和康(介護支援専門員)。
介護職・杉山 直美、小島 悦子、石井ひとみ、
羽田野ちづ子、長澤きつ子、小野 登代、
杉山 和子、安野 孝、南里紀代子。
調理職・石原 京子、八久保ユリ子。
管理者(ホーム長)・杉澤 卓巳。 以上、二十二名。

スタッフ紹介

自慢のホームなんです

「とても素敵なホームなの！」と思わず口にしてしまう私の自慢をいつも聞いてくれる友人や母がボランティアに来てくれ、皆とても感激していました。私の一番の自慢とは利用者様です。

先日、Kさんにお祈りを頼みました。お礼を言うのと、返ってきた言葉に感動です。「人間として当たり前の事だよ」「辛い時は慰め合わなきゃいけないだよ」とのお言葉。また、Sさんは「私が見えなくていつも真っ暗なんだけど、あなたとお話すると目の前がパッと明るくなる感じなの、サンキュー！」とニッコリ笑って手を握ってくれます。私は尊敬できる、人生の大先輩に沢山の事を学ばせて頂き、優しい気持ちにさせて頂いております。福音の園でお仕事させて頂く事に感謝しております。(介護職・杉山 直美)